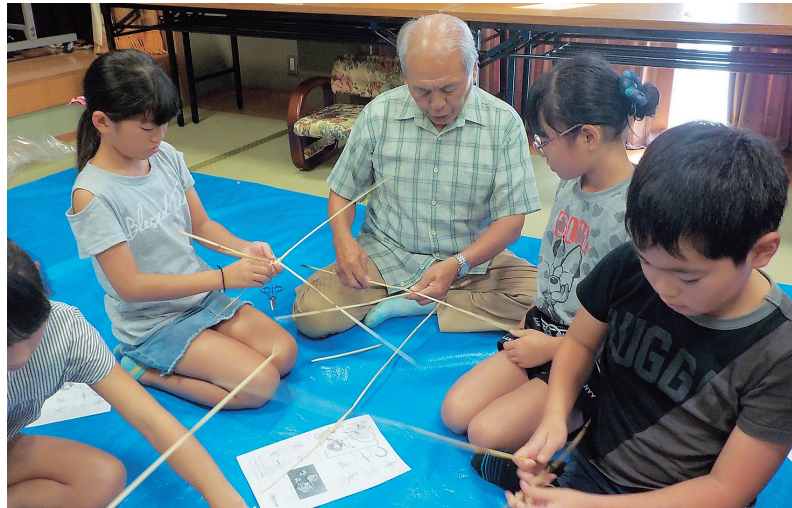




④はだか麦の麦わらで、
麦わら細工に挑戦(子ども夢会議)
⑤しらす丼を頬張る(タクシーツアー)
⑥親水公園をさっそうと
走る(サイクリングツアー)

五感で松前町の魅力を体感 「町内ツアー」と「子ども夢会議」

まさき—いいとこ見つけ隊は夏休み期間中、「サイクリング」「タクシー」で町内を巡る各種ツアーや、町内小学生を対象とした「子ども夢会議」を開催し、延べ130人が参加しました。

7月27日に行われた「スポーツサイクル車ツアー」では、親水公園などの町内の名所を巡ったほか、ホッケーを体験。また、8月22日に行われた「子ども夢会議」では、はだか麦を使った麦わら細工作りやはだか麦料理の試食を行ったほか、松前町の未来について話し合いました。そして、8月31日に行われた「タクシーツアー」では、特産である「しらす」や、「はだか麦」の加工品の製造現場の見学や坐禅体験などを行いました。

参加した人たちは、見て、聞いて、食べて、考えて—。さまざまな角度から松前町の魅力を体感していました。

笑って 感動して ますます元気に おたのしみバラエティショー

65歳以上を対象とした敬老イベント「おたのしみバラエティショー」は9月14日、文化センターで開催されました。

ショーでは、町内演芸名人がさまざまな演芸を披露したほか、司会を務めた西高柳出身の桂三幸さんが、スクリーンを使ったツッコミ漫談で笑いを誘いました。最後には、日本が誇る津軽三味線奏者の木乃下真市さんがダイナミックかつ繊細な演奏を披露し、会場を訪れた383人は、笑ったり感動したり、楽しいひとときを過ごしていました。

①司会で会場を盛り上げる桂三幸さん
②オリジナル曲を含む全5曲を披露



お兄さんと一緒に楽しくホッケー 北伊予小学校放課児童クラブ

北伊予小学校放課後児童クラブの「ホッケー教室」は8月21日、同校体育館で行われました。

本教室では、伊予高等学校ホッケー部の皆さんが指導のお手伝い。スティックの持ち方などを確認後、ドリブルしながらボールを取り合うなど大いに楽しみました。北伊予小学校の卒業生でもある、ホッケー部1年の有光翔吾さん＝中川原＝は、「優しく指導するよう心掛けた。一緒に楽しめたのでよかった」と話していました。

④「すごい!」リフティング指導
⑤お兄さんからボールを奪え



町の子育て・福祉事業に役立てて 「ふるさと応援私募債『地域の未来』」で寄付

伊予銀行(大塚岩男頭取)と株式会社アキタ(三瀬正徳社長)は9月13日、「ふるさと応援私募債『地域の未来』」を利用し、連名で町に25万円を寄付しました。これは、基準を満たした優良企業が発行する私募債で、伊予銀行が発行企業から受け取る手数料の一部を利用し、県や県内各市町に金銭を寄付する商品です。

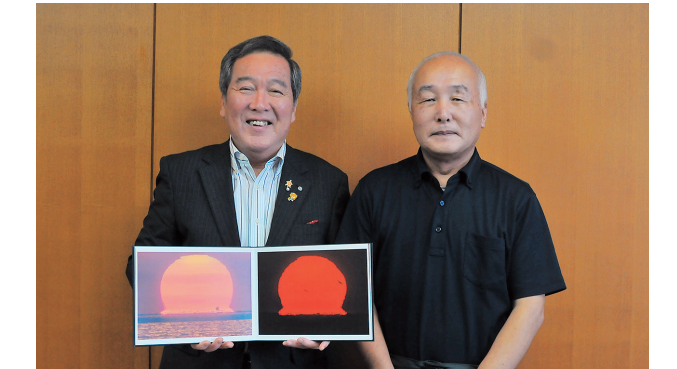
本私募債を発行した、株式会社アキタ＝西古泉＝の三瀬社長は、「松前町に会社を移転して4年目になる。今回の寄付金を活用していただき、地域貢献ができれば」と話していました。



スポーツでつなぐチャリティーの輪 24時間チャリティースポーツカーニバル MASAKI

町スポーツ協会主催「24時間チャリティースポーツカーニバル MASAKI」は8月24、25の両日、松前公園などで行われました。

このイベントは、日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」に賛同して行われているもの。今年はレクバレーやソフトボールなど、計19種目を24時間でつなぐ形で行い、参加者はスポーツと募金でチャリティーの輪を広げました。集まった募金14万6,488円は、同テレビに寄付されました。



美しい写真で魅力発信 フォトブック「夕陽物語 2018/2019」寄付

稲垣優さん＝東古泉＝は8月26日、塩屋海岸の魅力を伝えようと、夕日や夕景を収録したフォトブック「夕陽物語 2018/2019」を町に寄付しました。

このフォトブックの写真は、平成30年10月から31年3月までの5カ月間、稲垣さんが毎日塩屋海岸に通って撮影したもの。日や時間によってさまざまな姿を見せる夕日の美しい写真が収録されています。

このフォトブックは町のライブラリーで見ることができず。ぜひご覧ください。



戦没者の冥福を祈って 戦没者追悼式

町主催の「戦没者追悼式」は8月28日、文化センターで行われ、遺族や団体の代表者などが参列しました。

式辞で岡本町長は、「義農精神を受け継ぎ、松前町が心安らぐふるさとでありつづけるよう取り組みたい」とあいさつ。さらに、遺族を代表して麻生英毅さん＝昌農内＝が「感謝と尊崇の誠を捧げ、戦争を二度と繰り返させない」と訴えました。その後、参列者は献花し、犠牲者の冥福を祈りました。



長寿をお祝いへ 令和元年度長寿者訪問

9月16日の敬老の日を前に、岡本町長と加藤議長は9月10、11日の2日間、100歳以上の高齢者を訪問し、長寿を祝いました。本年度の対象者は33人です。

岡本町長と加藤議長は、個人宅や介護保険施設など16カ所を訪れ、一人一人に声を掛けながらお祝い状と記念品を贈呈しました。

本年度、新100歳を迎える人は次の通りです。

※ 新100歳となった13人のうち、11人を掲載しています。



町内最高齢は 109 歳

嘉村 澤子さん

＝塩屋＝

岡本町長は、「これからもお元気で、長生きしてくださいね」と声を掛けていました。



大政 アヤ子さん

＝大間＝



大西 節子さん

＝鶴吉＝



梶野 龍新さん

＝西古泉＝



木下 キクエさん

＝徳丸＝



日野 チエコさん

＝横田＝



吉邨 幸子さん

＝新立＝



本多 幸子さん

＝中川原＝



住田 ミヨコさん

＝新立＝

祝
100歳



高橋 トシ子さん

＝昌農内＝



伊賀上 初子さん

＝大間＝



若藤 年恵さん

＝大溝＝

おめでとうございます

